

百年前の未来予測

よこた じゅんや  
横田 順彌

めあて

みんなの未来予測を未来に送るための  
学習計画を立てよう。

本文を読むときのポイント

筆者が言いたいことは何か  
文章構成はどうなっているか

・段落のまとめ  
・根拠となる事例の書き方  
おもしろい、すごいと思ったところはどこか

「みんなの未来予測を未来に送ろう」学習計画表

学習内容					時間
①	・学習計画を立てる。	1			
②	・「百年前の未来予測」の文章構成を読み取る。	3			
③	・未来予測について調べる。 ・発表原稿を書く。	2			
④	・パネルディスカッションの準備をする。	2			
⑤	・パネルディスカッションを開く。	2			
⑥	・五十年後の未来予測文を書く。	1			

授業後、教室に掲示できるように広用紙に書くといでしょう。

1 / 11 時間目 指導略案

使用するワークシート…

活動のねらい

初発の感想を基にして学習への興味をもち、単元の見通しをもつようにする。

1 未来予測について関心を持つ。

題名の未来予測から「鉄腕アトム」や「ドラえもん」の中での、未来を予測して描いた街の風景等の資料を掲示し、それらを参考にさせて、これからの未来について自由に想像させる。

2 教材文を読み、初発の感想を書く。

【発問】どんな未来予測があったか、未来予測はどのようにして行っているかなど、未来予測について書かれていることに注意して読みましょう。

本文を読み、初発の感想を書く。  
初発の感想を発表させ、書かれていた内容やそれについての感想を共有させる。  
本文の最後の段落の「未来について考えてみましょう」に触れて、未来予測に興味をもたせる。

自分たちの将来を考えさせたり、冒頭のアニメの世界を想像させたりして未来予測についての楽しみ等も引き出すようにする。  
ある程度、未来予測への意欲付けができれば、「未来予測を書いてタイムカプセルに入れる」ことを教師から提案する。

3 学習計画を立て、単元の見通しをもつ。

初発の感想や本文の内容、自分たちが作った未来予測でどのようにパネルディスカッションにつなげていくかなど、表を参考にしながら単元の見通しをもたせる。

【発問】タイムカプセルに入れる未来予測を決めるために、どんな活動が必要だろう。

学習内容の順序が決定した上で、それぞれの活動の予定時間を決める。

学習計画を立てる経験が浅い学級では、教師が必要な活動を提案しながら、どのくらい時間数が必要かを考えさせる方がよいでしょう。

評価 初発の感想を基にして学習への興味をもち、単元の見通しをもつとしている。

4 学習を振り返り、自己評価をする。